

《大会申し合わせ事項》

- 1 開会式は、参加チーム数や会場の関係で行わない。
- 2 閉会式は、表彰式を兼ねて令和元年7月21日（日）各決勝会場で行う。
- 3 原則として、各チームとも9時に集合する。
- 4 会場到着後チーム責任者は、会場主任(会場責任者)まで到着の報告をする。
- 5 連絡なしでゲーム開始予定時刻から15分過ぎても用意が整わなかった場合、相手の不戦勝（20対0）とする。
- 6 ベンチには、選手15名・コーチ・アシスタントコーチ・マネージャー・チーム関係者等の19名以内とする。（チーム関係者及びコーチは、16歳以上とする。）
- 7 ベンチは 決勝トーナメントでは、組み合わせ表の左側のチームがオフィシャル席に向かって右のベンチとし、原則として淡色（白色）のユニフォームとする。
 - ・ ユニフォームの番号はできる限り連番とする。
 - ・ 予選リーグは次ページの【予選リーグの組み合わせ】を参照のこと。

※ これによらないユニフォームの場合は両チームの話し合いで決め、決定事項を審判に連絡する。
- 8 メンバー表の提出はオフィシャル席まで、第1試合目はゲーム開始10分前とし、第2試合目以降のゲームについては、前の試合のハーフタイム終了時までとする。
- 9 メンバー登録については、第1・第3クォーターは出場するメンバーを審判が1分前を合図したら直ちに、また、第2・第4クォーターに出場するメンバーは、前のクォーター終了直後にオフィシャルに報告する。
- 10 審判及びテーブル・オフィシャルズ
 - 【予選リーグ】大会プログラムに記載された通りとする。
 - 【トーナメント】
 - (1)第1試合の審判は、第3試合の両チームが行い、テーブル・オフィシャルズは、第3試合の組み合わせ番号の若いチームが行う。 決勝トーナメント第2試合以降は、前の試合の負けチームが行う。
 - (2)第2試合以降の帯同審判については、自チームの試合の次の試合を行う。
 - (3)準々決勝以降の試合の審判については、指名審判で行う。

1 1 試合時間

6分－1分－6分－5分(ハーフタイム)－6分－1分－6分で行う。

※ 前の試合が遅れた場合は、試合終了後10分間のインターバルを取る。

1 2 同点の場合は延長を行う。1回3分間の延長時限を必要な回数だけ行い、各延長時限の前に2分間のインターバルをおく。各延長時限では後半と同じバスケットを攻撃する。

1 3 予選で3チームの勝敗が同じ場合は、次の順番で1位・2位・3位を決定する。

(1) ゴールアベレージ(総得点÷総失点)を当該チームで考える

(2) 得失点差(総得点－総失点)

(3) 総得点の多い方

(4) コーチによる抽選予選で3チームの勝敗が同じ場合は、次の順番で1位・2位・3位を決定する。

1 4 ウォーミングアップを外で行う場合は、必ず外用と体育館用のシューズを区別し、土足禁止を厳守とする。

1 5 コーチ等は、ベンチマナーに十分注意し、審判の判定に対して不作法に不服を言うような行為はしない。

(JBA プレコーリングガイドライン 2019.0401 訂正版参考資料4の対処を行う。)

1 6 応援については、ベンチ及び保護者が相手チームの中傷や審判への罵声などないように十分注意する。

(児童育成の観点に立ち、チームの品位や指導者の資質まで疑われることのないようにする。)

1 7 会場使用後は、弁当等の後始末をきちんとし、ゴミはチームごとに持ち帰る。帰った後は、「使用前よりきれい」な状態を心掛ける。

1 8 チームが棄権の場合でも審判は必ず派遣すること。

(注) 千葉・市川・船橋・習志野・浦安市内会場への車は、1チーム3

台以内とします。